

2023年4月号 No. 238

今月の担当は歯科医師の神農泰生(しのう やすお)です。
毎度のように文字成分多めです。

今月のテーマは「歯周病を治療したら悪くなった？」です。
最初に、歯周病について簡単に説明する必要がありますでしょう。
一般的に歯周病、昔は歯槽膿漏といわれている病気は、病名としては歯周炎を指すことがほとんどです。歯周炎はその字の示すとおり、歯の周りの組織の炎症です。歯の周りの組織とは主に歯を支える骨、歯茎の肉のことです。そして、炎症とは、何らかの要因(歯周炎の場合は歯周病菌が出す毒素)で身体を構成する小さな組織が壊れ、それを抑えて治そうとする生体反応です。つまり、まとめると歯周炎とは歯の周りの骨や肉が破壊されてそれを抑えようとしている状態、ということです。

では、歯周病を治すにはどうしたらいいでしょう？答えは簡単、原因を取り除けばいいだけです。つまり、歯周病菌を取り除けばいいと言うことです。ところが、口の中の細菌は完全には取り除けません。やろうとしたら必要な細菌ごと滅菌しなければいけません。なので、現実的に出来ることは、炎症を起こしている部分の歯周病菌をできる限り減らす、という方法になります。

その方法が、日々の歯磨きとフロによる歯ブラシでは届かないところの掃除です。

4月6日、13日、27日(木)は休診です。

17日(月)18日(火)は院長出張のため休診です。

20日(木)は1日診療いたします。

よろしくお願いします。

さて、ここからが本題です。

まず、健康な歯ぐきは歯のエナメル質近くまで骨で支えられていて、それを歯ぐきが覆っています。骨の約2~3mm上に歯ぐきのラインが来ているのが健康とされています。

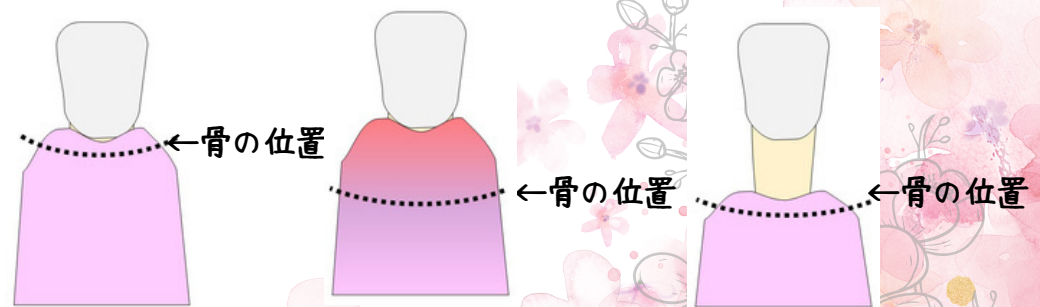
では、歯周炎が進行した歯ぐきはというと・・・歯を支える骨が破壊されていて、骨の位置がかなり(5mm以上)下がっています。さらに歯周炎の真っ最中ということで、それを覆っている歯茎が炎症を起こしています。ここがポイントなのですが、炎症を起こしているということは、歯ぐきは「腫れて」いるのです。そのせいで、歯ぐきのラインは骨の位置よりかなり上に位置します。そう、外から見ただけだと、歯ぐきのラインは健康な状態とあまり変わらない位置に見える、ということなのです。

歯周病の治療をして、歯ぐきの炎症が治まったらどうなるでしょう？「腫れ」が引いていきます。つまり、骨の約2~3mm上に歯ぐきのラインが来ることになります。

「歯周病の治療をしたら歯ぐきが痩せて前より悪くなった」とたまに聞くことがありますが、それはこういう事が起こっていたんです。安心してください、悪くありませんよ！

ちなみに、ここでいう、歯ぐきのラインと骨の位置との距離を探る検査を歯周ポケット検査といいます。

ということで、今月はここまで。



医療法人 SHT
まき歯科・矯正歯科クリニック
Smile Health Thanks

〒700-0975 岡山市北区今3-1-35

Tel ; 086-243-1006 Fax ; 086-243-1106

Mail ; Makishika@do5.enjoy.ne.jp Blog ; <http://blog.live.door.jp/Makishika/>